

IncluDE UTokyo

多様性包摂共創センター

UTokyo Center for
Coproduction of Inclusion,
Diversity and Equity



IncluDEは、当事者の困り事を起点に
様々な実践領域と研究領域をつなぎ、
ジェンダー・エクイティとバリアフリーの推進を
通じて、多様な人々の公平な包摂を実現する
(DEI: Diversity, Equity and Inclusion)
学知とキャンパス環境を共同創造します。

東京大学では、平成 14 年(2002 年)に設置された「バリアフリー
支援室」と、平成 18 年(2006 年)に設置された「男女共同参画室」
が中心となり、障害者支援とジェンダー平等を推進し、インク
ルーシブなキャンパスづくりに貢献してきました。令和 6 年(2024 年)
4 月、この 2 つの室はこれまでの蓄積をふまえて発展的に
統合され、「多様性包摂共創センター Center for
Coproduction of Inclusion, Diversity and Equity」
として新たな出発をし、「世界のだれもが来なくなる大学」の
実現を推進します。センターの愛称は IncluDE。みなさん、
気軽に IncluDE(インクルード)と呼んでください。

IncluDE のキーワードは「共同創造 (Coproduction)」。この
言葉には当事者(女性、性的マイノリティ、障害者など)と研究者が力を合わ
せて、ともにより良い社会をつくっていく意味が込められています。
だから合言葉は **Nothing about us without us!** (私たち
なしで私たちのことを決めないで!) このスピリットを大切にしま
ながら、IncluDE では目標(中面参照)に向かって活動します。

裏面の組織図にあるように、IncluDE には 2 つの室を統合した
DEI 実践部門を置き、マイノリティ性をもつ学生と教職員をシーム
レスに支援する体制に改組した事務組織とともに環境整備と支
援に取り組んでいきます。それに加えて、諸分野に分散している学
内の DEI 関連の研究を糾合した DEI 研究部門を設置し、この分
野の最先端の知見を生み出し、可視化します。DEI 共創推進戦
略室は、これら2部門をつなぎ、双方向の好循環を生み出します。
IncluDE はまた、本学全ての構成員が、人権に関するセンシ
ビリティを研ぎ澄まし、主体的に DEI 実現を目指すグロー
バル・シチズンとなるよう、教職員や学生を対象にして DEI に
関する教育や研修を実施します。

Who we are

IncluDE adopts a participatory approach, anchoring its
activities in the unmet needs of individuals with lived
experiences of marginalization, exclusion, and discrimination.
This collaborative process is designed to coproduce academic
excellence and cultivate an inclusive campus environment. By
integrating diverse research areas and practices, IncluDE aims
to ensure equitable inclusion of diverse populations on campus,
with a specific focus on advancing gender and disability equity.

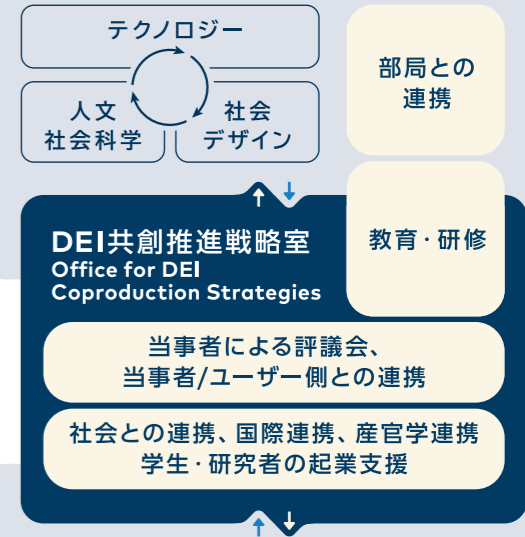
The Center for Coproduction of Inclusion, Diversity and Equity
(IncluDE) stands at the heart of UTokyo's commitments stated
in UTokyo Compass, the guiding principles of the university.
Our mission is clear: to achieve gender equity and disability
equity, enabling every individual, regardless of their
background, to thrive and contribute. We believe in a world
where diversity is not just accepted but celebrated as a source
of strength, creativity, and innovation.
At IncluDE, we believe in the power of “coproduction.” This
means that your voice, your ideas, and your dreams are not just
welcomed—they are essential. Our motto, “**Nothing about us,
without us!**” is a testament to our commitment to ensuring that
every member of our community is an active participant in
shaping the future of our campus and beyond.

As you can see in the diagram on the back page, the DEI
Implementation Division of IncluDE works towards a better
campus environment and provides support with an integrative
administrative structure. In addition, the DEI Research Division
brings together DEI-related researchers who are scattered
throughout the university in various faculties. The Office for
DEI Coproduction Strategies connects these two sections to
create a virtuous cycle of synergy.

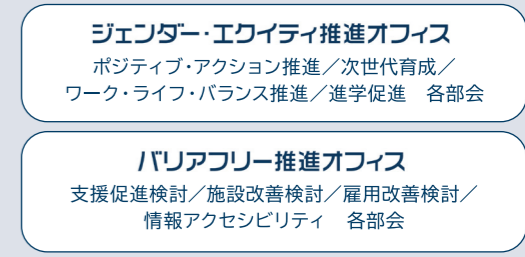
IncluDE also provides comprehensive DEI education and
training for faculty, staff, and students. This initiative aims to
sharpen the university community's sensitivity towards human
rights and cultivate empathy in them as global citizens who
proactively pursue the realization of DEI in society.



DEI 研究部門 / DEI Research Division



DEI 実践部門 / DEI Implementation Division



WEBSITE INFORMATION

多様性が公平に包摂されるキャンパスや社会を実現するには、そこに集う私たち一人一人の認識や行動を変革していく必要があります。そのため、IncluDE では多彩な教育研修プログラムを開発・提供するとともに、アーカイブも作成し、WEBにて掲載しております。その他、お知らせや所属メンバーなども発信していますので、是非 WEB サイトをご訪問ください。



← 日本語版 WEB



for English WEB →

東京大学のDEI



← 東京大学 ダイバーシティ&インクルージョン宣言



東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する学生のための行動ガイドライン →

01

DEI 共創推進戦略室

Office for DEI
Coproductio n Strategies

センター長と、研究部門、実践部門の2部門の主要構成員も参加し、両部門をつなぐ IncluDE の中核機能を担います。研究と支援を循環させるだけではなく、企業、地域、他大学など、広く社会との連携を強化します。また、デジタル情報技術を活用して、センターで行われている先端研究、および学内外のさまざまな DEI 関連のリソースやイベント情報、学内サービスなどを可視化し、DEI イノベーションに関する情報の発信源としての役割を果たします。また、DEI 研究部門や DEI 実践部門と協力して、ジェンダー・セクシュアリティや障害に関する教育・研修プログラムを学内で実施し、インクルーシブなキャンパス文化の醸成に寄与します。同時に、実践で得られた知見を活かして、日本・アジアの文化事情を考慮に入れた新しい DEI 教育のあり方を追究し、その成果を国内外に発信していきます。

さらに、とくに障害に関しては、「障害の社会モデル」に則り、アドバイザーとして「当事者による評議会」を設置します。センターのすべての活動に困難の当事者の視点を取り入れるとともに、産官学連携や起業支援を通じて研究成果を着実に地域社会に普及・実装させます。ジェンダー平等や性の多様性についても、適宜、内外の専門家や当事者に意見を聞き、東京大学、そして日本の DEI にかかわる課題の解決を探ります。

02

DEI 研究部門

DEI Research
Division

東京大学には、ジェンダー・セクシュアリティ研究、障害学の権威が大勢います。DEI 研究部門は、こうした、学内に散在する DEI 関連分野の研究者が集まる場となります。各分野の研究者たちは、相互に研究成果をインプットし合うことによって、従来の学問の枠を超え、需要・ユーザー主導の DEI 社会デザインに関わる研究分野の拠点をつくります。

また、DEI 実践部門と当事者による評議会から、いまだ満たされていない当事者のニーズについての適切なインプットを得ることによって、より良い解決を提供できる研究開発を行います。

03

DEI 実践部門

DEI Implem entation
Division

この部門には、バリアフリー推進オフィス(旧バリアフリー支援室)とジェンダー・エクイティ推進オフィス(旧男女共同参画室)があり、これまで両室が担ってきた実践的機能を、余すことなく担います。さらに、両室が IncluDE の一部門として統合され密に連携することで、交差性に対応できる支援も提供します。また、研究部門の成果を反映し、これまで以上に充実した学内サービスを実現します。加えて、実践現場で得られるニーズや知見を研究部門へとインプットし、知と実践の好循環を生み出します。

ジェンダー・エクイティ推進オフィス

旧男女共同参画室として実施してきた教職員・学生向けの保育園整備や女性学生を増やすための母校訪問などの取り組みを引き続き実施しています。ジェンダーやセクシュアリティについて構成員向けの意識改革を目的としたプロジェクトの実施、子育てや介護などを行っている研究者への支援策や女性教員の増加策なども実施しています。

バリアフリー推進オフィス

東京大学は、障害のある学生と教職員が、障害ゆえに修学、研究・教育、就労上不利益を受けることのないよう、合理的配慮の提供と環境整備に努めています。この目的を達成するために、東京大学バリアフリー推進オフィス(旧バリアフリー支援室)は、障害のある構成員の実情とニーズを聞き取り、実際のサポートを担う学部・研究科、研究所等の部局と密に連携しています。

Who we are Our Goals

Goal : 01

当事者と研究者の
共同創造

Coproduce research results with
underrepresented members



Goal : 02

研究と実践の
好循環

Achieve a virtuous cycle of synergy
between research and practice



Goal : 03

ジェンダー
平等の達成

Achieve gender equity



Goal : 04

ライフステージに
合った支援体制

Provide a seamless support system
that covers every stage of life



Goal : 05

交差性を考慮にいれた
支援と環境整備の実践

Respond to the needs of
contemporary intersectionality



What we do

IncluDE 多様性包摂共創 センターの取り組み